



1988年

No. 73

編集

全国膠原病友の会

〒158 東京都世田谷区瀬田 5-24-19
電話 03-700-6083

63年度全国膠原病友の会総会 及び医療講演と医療相談会

☆日時

昭和63年7月23日 (土曜日)

11時～16時30分

☆会場

機械振興会館 B2ホール

東京都港区芝公園3丁目5-8

Tel 03-434-8211

地下鉄 日比谷線 神谷町下車

都営三田線 御成門下車

JR線 浜松町駅下車

バス 東京タワー前下車

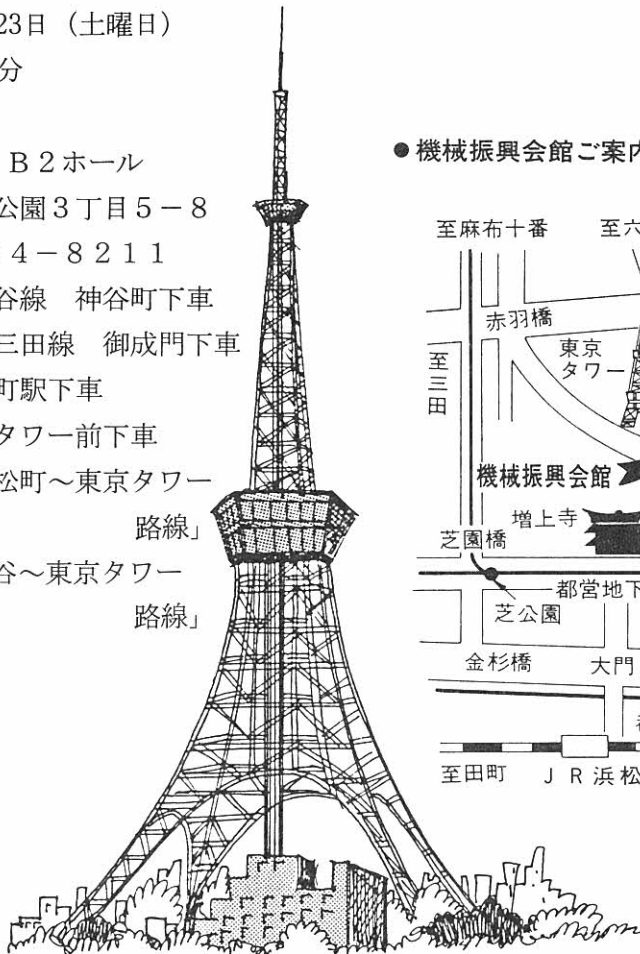
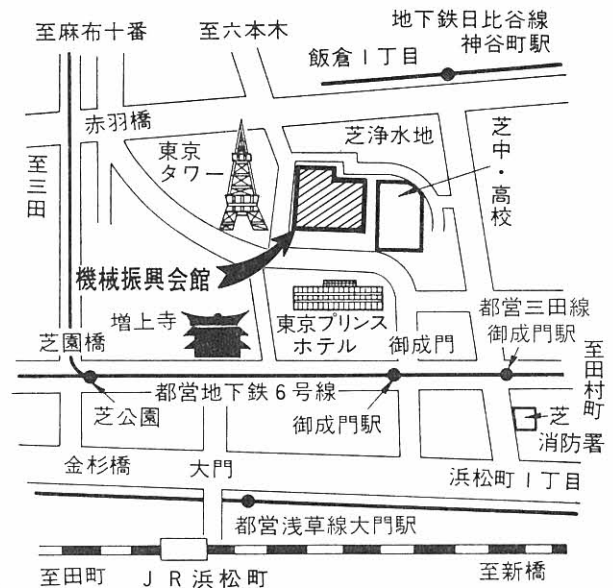
「浜松町～東京タワー

路線」

「渋谷～東京タワー

路線」

●機械振興会館ご案内



昭和五十一年二月二十五日 第三種郵便物許可(毎週三回・月曜・水曜・金曜発行)
昭和六十三年六月十八日発行 SSKO通巻一七八四号

プログラム

☆総会 11時-12時

- (1)開会
- (2)代表委員挨拶
- (3)来賓紹介、祝電披露
- (4)活動経過報告
- (5)昭和62年度収支決算報告
- (6)昭和63年度活動方針
- (7)昭和63年度収支予算
- (8)役員及び支部代表紹介
- (9)要望事項決議
- (10)閉会

☆医療講演 1時-2時

『膠原病研究の現状と今後の展望』

順天堂大学病院 教授

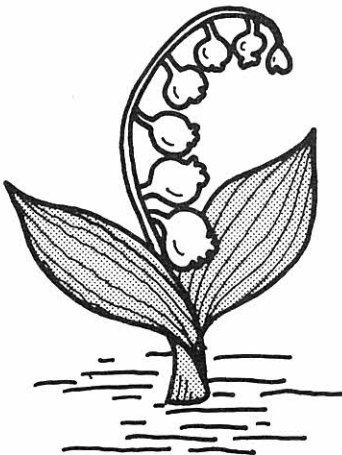
廣瀬俊一先生

☆医療相談 2時半-4時半

諸先生方

☆支部長会議 6時-8時

〃 (24日) 9時-12時



昭和62年度活動経過報告

(S61.10.1~S63.6.30迄とする。)

本日開催となりました昭和63年度総会は初めて参加されました皆様に当初ご説明しておかなければならない事があります。

当友の会では本部総会は1年半ごとの年度として「活動報告」を行っております。会計報告に関しては毎年会報「膠原」で報告を3月31日現在で行っておりますのでご了承下さい。

今日ご報告いたしますこの1年半と云う時間は、本部役員の寺山、森田が同時期に老母の看護(両者とも他界しました。)の為に活動は不可能でした。

「全難連」参加の中では、役員として協力しております。

- 「難病対策15周年記念事業」
- 「日本リウマチ財団設立」

はこの苦しい年度内ではとても大切な行事であったと思います。

次の通り活動経過を報告いたします。

活動日誌

(S61.9.9の総会報告以後62.5.31まで)

☆運営委員会・編集会議

| | | |
|--------|-----|----|
| 10月7日 | 本 部 | 5名 |
| 11月11日 | 〃 | 5名 |
| 12月16日 | 〃 | 4名 |
| 1月16日 | 〃 | 6名 |
| 2月10日 | 〃 | 6名 |
| 3月13日 | 〃 | 4名 |
| 4月14日 | 〃 | 6名 |

| | | | | | |
|--------|---|----|--------|------------------------------|-----|
| 5月8日 | 〃 | 6名 | 11月18日 | 総会準備(本部) | 9名 |
| 6月9日 | 〃 | 6名 | 11月23日 | 支部長会議(お茶の水) | 6名 |
| 7月10日 | 〃 | 5名 | 12月13日 | 全難連(三田) | 1名 |
| 8月11日 | 〃 | 5名 | 1月26日 | 全難連(電通) | 1名 |
| 9月8日 | 〃 | 5名 | 2月19日 | 全難連(三田) | 2名 |
| 10月27日 | 〃 | 5名 | 3月15日 | 全難連 | 1名 |
| 11月13日 | 〃 | 5名 | 4月19日 | 全難連(三田) | 2名 |
| 12月8日 | 〃 | 5名 | 5月21日 | 全難連(三田) | 1名 |
| 1月19日 | 〃 | 5名 | 6月9日 | 会計監査(本部) | 2名 |
| 2月2日 | 〃 | 5名 | 9月11日 | 新宿保健所 | 1名 |
| 3月11日 | 〃 | 5名 | 9月14日 | 〃 〃 | 1名 |
| 4月14日 | 〃 | 6名 | 10月8日 | 分室引越 | 5名 |
| 5月8日 | 〃 | 5名 | 10月13日 | 〃 〃 | 6名 |
| 6月9日 | 〃 | 6名 | 12月12日 | 全難連(三田) | 1名 |
| 7月10日 | 〃 | 5名 | 12月12日 | 厚生省難病対策15周年記念 (霞ヶ関全社協ホール) | 14名 |
| 8月11日 | 〃 | 5名 | 1月12日 | リウマチ財団(パレスホテル) | 2名 |
| 9月8日 | 〃 | 5名 | 4月16日 | 全難連(赤羽会館) | 2名 |
| 11月13日 | 〃 | 5名 | 4月29日 | 全難連(お茶の水) | 1名 |
| 12月8日 | 〃 | 5名 | 5月1日 | 全難連(戸山サンライス) | 1名 |
| 1月19日 | 〃 | 5名 | 5月12日 | 全難連(文京区) | 1名 |
| 2月2日 | 〃 | 5名 | 5月15日 | 東京支部総会(飯田橋) | 4名 |
| 3月11日 | 〃 | 5名 | 5月16日 | 全難連(渋谷) | 1名 |
| 4月12日 | 〃 | 5名 | | | |
| 5月13日 | 〃 | 5名 | | | |



☆広報活動

| | | |
|------|--------|-----|
| №68号 | 10月21日 | 18名 |
| №69号 | 2月20日 | 12名 |
| №70号 | 5月26日 | 11名 |
| №71号 | 10月20日 | 11名 |
| №72号 | 2月9日 | 11名 |

☆事務会計 出席211日 のべ319名

☆其の他の活動

| | | |
|--------|----------|----|
| 9月21日 | 全難連(三田) | 1名 |
| 10月29日 | 全難連(厚生省) | 3名 |
| 11月16日 | 全難連(三田) | 1名 |

昭和63年度活動方針(案)

「難病対策」も15年を経過し、国における対策も新しい方向に担当機関も移っております。

私たち膠原友の会は今日から、会員全員で自分の生き方を考えなければなりません。

これからは各支部(地方の時代)で、方針を計画されて、友の会の目的を中心にしてお互に交流を深めながら、活動を進めて参りたい

いと思います。

顧問の先生方をはじめ、ご理解ある協力関係者の尚一層のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

[会の目的]

本会は膠原病についての正しい知識を高め、明るい療養生活を送ると共に、会員相互の親睦をはかり、病気の原因究明と治療法の確立と社会対策を推進することです。

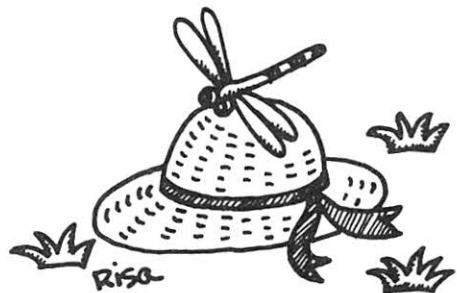
- 1) 膠原病医療講演会並びに「膠原」紙上の専門医師による新たな医療記事によって正しい知識を習得する。
- 2) 医療相談会・生活福祉相談会の開催
 - ・専門医、ケースワーカーによる相談会を開催する。
 - ・友の会事務局において電話・文書による会員の相談を受け、運営委員が研修討議を行なって答える。
- 3) 運営委員会
 - ・毎月火曜日に定例会議を開催する。
 - ・毎週火曜日、金曜日に事務局に役員が集って事務その他会の運営事項の処理をする。
 - ・会員と情報を交換し、関係患者団体と連携し情報交換を行う。
- 4) 広報
 - ・機関紙「膠原」の発行。
 - ・会員名簿の配布。
 - ・必要資料の配布。
 - ・膠原病診療手帳の頒布。
- 5) 支部活動の推進をはかる。
- 6) 友の会未加入者へのPR活動と事務局体勢の強化のための財政強化をはかる。
- 7) 難病・障害者団体、医療福祉団体と連携し共に活動する。

「私たちの要望事項」

1. 膠原病の原因究明と治療研究の推進強化
2. 膠原病の早期発見と早期治療体勢の確立
3. 膠原病の専門医・専門病院の適正配置
4. 全国ブロックごとに膠原病センターの配置(膠原病科の設置)
5. 差額ベッドの軽減および解消
6. 医療保険適用外の付帯医療費の支給
7. 医療費公費負担対象疾患の拡大(シェーグレン症候群及び混合性結合組織病〔MCTD〕)
8. 専門医・保健婦の増員による訪問診療、訪問看護制度の拡充
9. はり・灸・マッサージ・漢方薬など東洋医学の医療保険範囲を拡大し給付期間の制限を撤廃
10. 身障福祉法の拡大と難病患者(膠原病)の援護措置の拡大
11. 膠原病患者を含む内部障害者の更生施設の拡充
12. 働ける膠原病患者の雇傭促進
13. 単身膠原病患者の公営住宅への優先入居

以上 昭和63年度・総会において決議いたします。

全国膠原病友の会



昭和62年度収支決算報告書

S 62. 4. 1 ~ S 63. 3. 31

| 収入の部 | 決 算 額 | | 支出の部 | 決 算 額 | |
|---------|-----------|--|-----------|-----------|--|
| 繰 越 金 | 689,571 | | 助 成 金 | 1,171,100 | |
| 入 会 金 | 189,600 | | 会 議 費 | 53,800 | |
| 会 費 | 5,636,200 | | 印 刷 費 | 1,254,500 | |
| 賛 助 会 費 | 443,000 | | 通 信 費 | 839,958 | |
| 寄 付 | 947,210 | | 事 務 用 品 費 | 55,179 | |
| 書 籍 売 上 | 450,590 | | 事 務 所 経 費 | 539,748 | |
| 雑 収 入 | 5,920 | | 活 動 交 通 費 | 404,250 | |
| 受 取 利 息 | 11,823 | | 分 担 金 | 226,510 | |
| | | | 渉 外 費 | 88,875 | |
| 積 立 金 | 500,000 | | 資 料 費 | 41,060 | |
| 受 取 利 息 | 18,728 | | 書 籍 仕 入 | 302,220 | |
| | | | 積 立 金 | 3,000,000 | |
| | | | 繰 越 金 | 915,442 | |
| 合 計 | 8,892,642 | | 合 計 | 8,892,642 | |

上記の通り相違ありません。

昭和63年6月8日

会計監査 金井 昭 ㊟
 松本 貞子 ㊟

昭和63年度収支予算(案)

S 63. 4. 1 ~ S 64. 3. 31

| 収入の部 | 予 算 額 | | 支出の部 | 予 算 額 | |
|---------|-----------|--|-----------|-----------|--|
| 繰 越 金 | 915,442 | | 助 成 金 | 1,100,000 | |
| 入 会 金 | 120,000 | | 会 議 費 | 800,000 | |
| 会 費 | 4,500,000 | | 印 刷 費 | 1,200,000 | |
| 賛 助 会 費 | 400,000 | | 通 信 費 | 800,000 | |
| 寄 附 金 | 500,000 | | 事 務 用 品 費 | 100,000 | |
| 書 籍 売 上 | 100,000 | | 事 務 所 経 費 | 400,000 | |
| 雑 収 入 | 10,000 | | 活 動 交 通 費 | 500,000 | |
| 受 取 利 息 | 10,000 | | 分 担 金 | 200,000 | |
| | | | 渉 外 費 | 200,000 | |
| | | | 資 料 費 | 50,000 | |
| | | | 書 籍 仕 入 費 | 300,000 | |
| | | | 什 器 備 品 費 | 100,000 | |
| | | | 雑 費 | 5,442 | |
| | | | 積 立 金 | 800,000 | |
| 合 計 | 6,555,442 | | 合 計 | 6,555,442 | |

賛助会員会費納入お礼

62年度

順不同

(1口 1,000円)

| | | | | | | | |
|-----|-------------|---------|-----|-----|--------------|---------|-----|
| 東 京 | 国立医療センター | 木下 牧子先生 | 5口 | 千 葉 | 荏原医院 | 荏原 忠夫先生 | 20口 |
| 高 知 | 高知医科大学 | 益田 俊樹先生 | 5口 | 岩 手 | 友愛病院 | 須藤 守夫先生 | 10口 |
| 埼 玉 | 埼玉医科大学 | 鈴木 輝彦先生 | 20口 | 神奈川 | 聖マリアンナ医大東横病院 | 東 威先生 | 5口 |
| 東 京 | 駒込病院 | 猪熊 茂子先生 | 2口 | 東 京 | 東京大学 | 諸井 泰興先生 | 10口 |
| 愛 知 | 岡崎中央病院 | 鈴木 定先生 | 5口 | 愛 知 | | 平井さと子先生 | 5口 |
| 東 京 | 帝京大学 | 橋本 喬史先生 | 10口 | 佐 賀 | 佐賀医科大学 | 山口 雅也先生 | 5口 |
| 茨 城 | 東洋医学針灸治療院 | 岩村 兼明先生 | 10口 | 東 京 | 墨東病院 | 熊谷 安夫先生 | 3口 |
| 東 京 | 順天堂大学 | 廣瀬 俊一先生 | 5口 | " | 日本大学 | 大国 真彦先生 | 2口 |
| 埼 玉 | 大友医院 | 大友 一夫先生 | 10口 | " | 杏林大学 | 渡辺 言夫先生 | 5口 |
| 東 京 | 東京大学 | 谷本 潔昭先生 | 10口 | 東 京 | 国立第二病院医療相談室 | 佐々木康生先生 | 5口 |
| 大 阪 | 関西医科大学 | 鮫島 美子先生 | 10口 | " | 聖路加国際病院看護婦 | 山田真知子様 | 3口 |
| 大 分 | 九大生体防御医学研究所 | 延永 正先生 | 5口 | 石 川 | 看護婦 | 高地美津子様 | 5口 |
| 島 根 | 国保崎診療所 | 角 禎二先生 | 3口 | | | | |

一 般

| | | | | | | | | |
|-----|------------|-----|-----|---------|----|-----|----------|-----|
| 東 京 | 荻村 光恵 様 | 3口 | 東 京 | 岸 研介 様 | 1口 | 東 京 | 大藤 俊則 様 | 3口 |
| " | 白石 勝也 様 | 10口 | 福 島 | 吉田 浩 様 | 3口 | 神奈川 | 小林加寿子 様 | 3口 |
| 千 葉 | 影山 菊恵 様 | 5口 | 茨 城 | 寺門 明美 様 | 3口 | " | 倉田菊三郎 様 | 10口 |
| 東 京 | 吉田 礼子 様 | 10口 | 広 島 | 藤井 幸子 様 | 1口 | 東 京 | 加納八千代 様 | 2口 |
| 埼 玉 | 春名 道子 様 | 2口 | 千 葉 | 松本 光男 様 | 5口 | 石 川 | 輪島教会婦人部様 | 2口 |
| 東 京 | 瀬田友の会OB一同様 | 10口 | 神奈川 | 米山 愛 様 | 2口 | " | 楠本 史郎 様 | 5口 |

会 員

| | | | | | | | | |
|-----|---------|-----|-----|---------|----|-----|---------|----|
| 東 京 | 原 稔 様 | 1口 | 山 梨 | 堀川 梅子 様 | 5口 | 香 川 | 宮本由美子 様 | 1口 |
| 東 京 | 山口 みね 様 | 2口 | 埼 玉 | 福田 美子 様 | 2口 | 鹿児島 | 清藤美恵子 様 | 1口 |
| 新 潟 | 小林 ツギ 様 | 1口 | 千 葉 | 宇田川道代 様 | 3口 | 神奈川 | 稲生 文 様 | 1口 |
| " | 丸山真知子 様 | 1口 | 愛 知 | 本若 康子 様 | 1口 | 埼 玉 | 井上 佳代 様 | 1口 |
| 鹿児島 | 川端 幸子 様 | 10口 | 広 島 | 小原 敬子 様 | 1口 | 神奈川 | 村山 忠 様 | 1口 |
| 京 都 | 谷口 智美 様 | 1口 | 東 京 | 瓜田 栄子 様 | 5口 | 佐 賀 | 古賀 紀子 様 | 1口 |
| 長 野 | 山後 鈴子 様 | 2口 | 埼 玉 | 石垣あつ子 様 | 1口 | 茨 城 | 高橋 良子 様 | 1口 |
| 滋 賀 | 岡田 勝男 様 | 10口 | 神奈川 | 石和 晴代 様 | 1口 | 東 京 | 山川 嘉子 様 | 3口 |
| 東 京 | 高橋久美子 様 | 1口 | 鹿児島 | 西元 陽子 様 | 1口 | 茨 城 | 照沼 恭子 様 | 1口 |
| 神奈川 | 竹田美保子 様 | 1口 | 埼 玉 | 松崎 きみ 様 | 1口 | 千 葉 | 富田 佳子 様 | 1口 |
| 東 京 | 天野八重子 様 | 3口 | 東 京 | 丸山ハルイ 様 | 1口 | 大 阪 | 石黒まさみ 様 | 1口 |
| 東 京 | 木平 裕彦 様 | 10口 | 新 潟 | 岡村 千枝 様 | 1口 | 神奈川 | 吉岡麻利子 様 | 3口 |
| 三 重 | 森田 美恵 様 | 1口 | 神奈川 | 中村佳代子 様 | 1口 | 東 京 | 富岡 祥美 様 | 1口 |
| 福 岡 | 飯田 幸恵 様 | 1口 | 静 岡 | 柴田みつ枝 様 | 1口 | 千 葉 | 山田喜美子 様 | 1口 |
| 大 阪 | 坂井 恭子 様 | 1口 | 東 京 | 田島 耕治 様 | 2口 | 東 京 | 渡辺 昭男 様 | 5口 |
| 福 岡 | 下郡 晴代 様 | 1口 | " | 高島 昭子 様 | 2口 | " | 織茂 秀子 様 | 2口 |
| 東 京 | 笹原由紀子 様 | 1口 | 長 野 | 池田 明美 様 | 1口 | 宮 城 | 佐藤きよ子 様 | 1口 |

| | | |
|----------------|----------------|----------------|
| 埼玉 板倉 静江 様 2口 | 広島 對馬 葆 様 1口 | 三重 松村けい子 様 1口 |
| 福岡 佐藤 正恵 様 5口 | 長野 山後 鈴子 様 2口 | 石川 辻 マサ 様 1口 |
| 山口 室 房子 様 2口 | 神奈川 河西 美子 様 1口 | 千葉 鈴木 寛司 様 1口 |
| 新潟 小出 ケイ 様 1口 | 富山 奥田 敦子 様 1口 | 埼玉 倉岡 優子 様 5口 |
| 埼玉 関野 勝子 様 1口 | 茨城 宮川志津子 様 1口 | 神奈川 神保三枝子 様 1口 |
| " 江森 君江 様 1口 | 鹿児島 水間ホズヨ 様 1口 | 広島 堂面 洋子 様 1口 |
| " 白石 実 様 2口 | 岩手 米沢 順子 様 3口 | 神奈川 藤原美恵子 様 1口 |
| 香川 辻 美千代 様 5口 | 神奈川 古山千江子 様 6口 | " 小湊 文子 様 3口 |
| 長崎 深見 知代 様 5口 | 大阪 一柳 真弓 様 1口 | 東京 松並 克子 様 1口 |
| 千葉 笹原 利子 様 1口 | 東京 赤堀 則子 様 2口 | 千葉 大矢 美幸 様 1口 |
| 群馬 須田久美子 様 1口 | 山口 藤内芙佐子 様 1口 | 東京 松本 美穂 様 2口 |
| 神奈川 鈴木美代子 様 1口 | 和歌山 松尾万里子 様 1口 | 千葉 野口 和夫 様 1口 |
| 鳥取 塩 孜 様 6口 | 千葉 河津 美穂 様 1口 | 愛知 佐野 視春 様 1口 |
| 福岡 矢野 律子 様 1口 | 東京 小林 弘子 様 1口 | |
| 茨城 田村 松美 様 1口 | 山形 岡部 悦子 様 1口 | |

御 寄 付 御 礼

62年度

順不同

(1,000円以上)

| | | |
|------------------------|-------------------|-------------------|
| 岩手 佐々木アイ 様 1,400 | 東京 岸本 晋 様 500,000 | 千葉 吉良 真弓 様 2,000 |
| 岡山 伊藤 栄 様 1,400 | 石川 松原 富栄 様 1,400 | 神奈川 宗像友吏子 様 1,400 |
| 宮崎 川元フミ子 様 1,000 | 埼玉 田村 典子 様 4,350 | 静岡 鈴木 清 様 10,000 |
| 東京 富田 保蔵 様 12,800 | " 佐藤喜代子 様 4,350 | 神奈川 本望 愛子 様 1,000 |
| " 石川美佐子 様 10,000 | 千葉 宮田 明美 様 12,480 | 広島 岡崎 裕己 様 2,000 |
| " 東京第一バプテスマ教会様 30,000 | 東京 野村 演義 様 6,400 | 石川 高田寿美子 様 1,400 |
| 山口 輪田コメヨ 様 1,250 | 神奈川 酒巻 誠 様 1,400 | 神奈川 橋本 幸吉 様 2,000 |
| 長野 中島 蓉子 様 3,000 | 神奈川 佐藤 栄 様 1,400 | 福岡 二宗タケヨ 様 6,400 |
| 山形 山口 昭義 様 5,000 | 東京 稲上 朝子 様 1,400 | 千葉 鈴木 みつ 様 2,000 |
| 大阪 岡西 重次 様 5,000 | 神奈川 林 政子 様 2,800 | 神奈川 山田 妙子 様 1,400 |
| 福岡 小川 祝江 様 3,000 | 青森 秋岡 洋子 様 10,000 | 熊本 宮本 鶴子 様 1,800 |
| 和歌山 樋垣 由香 様 3,800 | 神奈川 桑原 哲子 様 1,400 | 福岡 森田 安子 様 6,400 |
| 東京 山田真知子 様 7,220 | " 山下 信子 様 1,400 | 茨城 竹内 豊 様 1,350 |
| 神奈川 佐藤 栄 様 10,000 | 千葉 吉野以甫子 様 1,400 | 福岡 山部 勝子 様 1,400 |
| 東京 小松 恵子 様 60,000 | 宮城 杉山 節子 様 1,400 | 茨城 高安 寿恵 様 1,400 |
| 広島 佐藤 英子 様 3,000 | " 奥山 昭 様 10,000 | 大阪 萬本 育子 様 1,450 |
| 新潟 坂井 信雄 様 2,800 | 熊本 馬場 末子 様 5,000 | 神奈川 平河内ミヨ子様 5,000 |
| 千葉 原 真代 様 3,000 | 徳島 上田しづ子 様 6,400 | 埼玉 板倉 静江 様 2,350 |
| 東京 中島 政 様 1,400 | 東京 前川 明美 様 1,000 | 新潟 吉井 協子 様 1,400 |
| " 東京第二友の会様 10,000 | 千葉 中村 和子 様 1,400 | 愛知 三浦志奈子 様 4,350 |
| 沖縄 知念 喜廣 様 6,400 | 広島 村上 絹代 様 3,000 | 静岡 加藤 初美 様 6,400 |
| 山口 松本 潔 様 1,000 | 千葉 藤井 彰人 様 5,000 | 栃木 星 正己 様 10,000 |
| 東京 東京第一友の会半込方面様 20,000 | " 金井 紘子 様 2,550 | 佐賀 北田 教子 様 1,400 |

勿論、10年近く寛解期の続いている患者さんも少なくありませんでした。

このことは、お仕事を考えた場合に、何か一つのことを続けてずっとやらなくてはならないようなお仕事、というのは無理なのではないか、ということになるわけです。そのお仕事の内容にもよるけれど、ときどき入院ということで休んでも、問題のないようなお仕事ならばよろしいんですけれども、ひとりの方が、一つの仕事を続けてやらなければいけないというようなお仕事は、いろいろ支障をきたす心配があるのではないか、というふうに思っております。

また、たとえ寛解期にあっても、多くの患者さんは月1回、ないし2回は通院しなくてはならないわけです。

日曜日に、医者の方がお待ちできるような体制になればよろしいんですけれども、そういうわけにもいかないの、やはりそれだけ余裕のあるお仕事、あるいは、そういう通院に、理解をもっていてくれるような上司のいるようなお仕事、そういうお仕事を選ばれたらよろしいと思います。

原則として、膠原病になったから仕事は無理だ、ということは無いわけであって、かえって何か、仕事をお持ちになって、生活に張りを持たれていたほうが病気の経過にも良い影響を与える、というふうに考えられます。

次に、結婚についてですが、膠原病の患者さんは9割方女性なので、一つの大きな問題になるわけであります。

結婚をどうするかということと、当然、妊娠・出産をどうかという問題が生じてきます。

こういうことが問題になるということは、我々としてはある意味で、喜ばしいことだと

思っています。

10年前、20年前でしたら、我々の持つ治療法が充分でなかったといえますか、上手にコントロールができなかったと申しますか、とても患者さんの、妊娠・出産等についての問題を、取りあげることは無かったのですけれども、幸い寛解期を、永く保っていただけるようになってきたので、結婚生活が比較的、健康な方と同じように、送れるようになった方もあるわけです。

そういう方の場合には、赤ちゃんが欲しいというご希望が、出てくるのは当然で、そういう点では我々も、嬉しく思っています。

膠原病一般で、妊娠・出産がどういうふうに影響するかということを中心に申し上げますと、慢性関節リウマチの場合には、妊娠中に良くなりますね。今まで痛かった関節が、赤ちゃんができると楽になる。慢性関節リウマチは、妊娠中は寛解すると言われていました。ただし、出産後は悪化することが少なくありません。

一方、SLEは逆でございまして、妊娠中、多くの場合は悪化がおこるとされてきました。

その他の膠原病は、といいますと、はっきりとしたことは言えない。悪化することはあるまい、あるいは少し悪くなるかもしれない、と意見が半々で、まあ、SLEほど心配しなくてもよろしいだろう、というのが、強皮症であり、皮膚筋炎等であります。

最近問題になっているMCTD(混合性結合組織病)、これはだいたいSLEと同じように考えたらいいのではないかとされています。

膠原病のうちでは、SLEの患者さんが比較的多いので、統計的なデータの発表も多い

のです。そこで、ある程度の確率でものが言えるのはSLEですから、SLEについてお話することにします。

膠原病の患者さんにとって、妊娠と出産を考える場合に、我々は3つの点から考えます。

まず、病気を持っているということが、妊娠そのものにどう影響を与えるか。2つ目は、妊娠すると、病気の経過がどう変わるか。3つ目は、赤ちゃんに対する影響がどう出るか。この3点を中心に考えています。

最初に、SLEの患者さんが妊娠した場合に、いったいその妊娠が病気があることによってどうなるのか、という点についてでありますけれど、おおまかに言って3分の1位に、流産ないし早産があるとされています。もちろん、健康な方の妊娠においても早・流産はあるわけですが、九州大学の柳瀬先生が厳密な調査をしたところによると、健康な方の2.5倍、すなわち2倍から3倍位の危険率で早流産がおこりやすいと言われていました。

次に、妊娠することによってSLEが悪化するかどうか、ということです。さきほど申しましたように、慢性関節リウマチでは、その症状の改善がみられますが、SLEの場合には今まで、必ず悪くなるというふうに報告されていたわけです。

ある報告では、50%の方は悪化する。2人に1人は悪化する。その危険率の高さ故に、SLEの患者さんの妊娠は避けるべきである、と言われていました。

ところが、3年前位に、アメリカのある論文が発表されて、それは、よくコントロールされた、つまり寛解期にあるSLEの患者さんの妊娠には、ぜんぜん問題が無い。ただし、腎臓が悪い場合には、10人に1人位の割

合で悪化が見られる。したがって、SLEの患者さんの妊娠を、そう、恐れることは無い、という論文が出たわけです。

そういう観点から、前の、50%位悪化があるという論文を見直してみますと、対象にした患者さんが、悪い時期の患者さんもあれば、落ち着いている患者さんもあるというふうにして、どちらかという、寛解期でない患者さんの場合のデータをまとめたものであったと解釈されます。

結局、十分に寛解期にある場合には、SLEの患者さんが妊娠しても、悪化は無いだろう、と、もちろん、その間データの動きを見ながら、十分にお薬を増やしたりしていただきながら、コントロールしていく必要はあるわけですが。

そういうふうに、病勢を抑える配慮がされている場合には、そう怖くはないというふうになっております。

ただし、この論文でも、腎臓が悪い方は危険率が高いから、気をつけたほうが良い、ということは言っています。

殊に、お産の後で、3分の1の方は、程度の差はあれ悪化する、と思っただきたい。

その悪化の際に、腎臓以外の症状の悪化は、副腎皮質ホルモンを上手に使うことによって、ほぼ完全に、元通りにすることができるわけですが、こと腎臓に関しては、悪化すると、元に戻すことが比較的むずかしい。

腎臓の悪い方は、現状をいかに維持するか、ということが大事です。したがって、腎臓の悪い方の妊娠は、出産を機に悪化することが多いので、注意しなければならないとされています。

具体的に、腎臓の障害の程度がどうか、と

いうことになるんですけれども、腎臓が悪いと血圧が上がる人が多いのですが、我々は一応、血圧が150を越えぬこと、また、その状態が長く続いている。最低血圧が90を越えない。それから腎機能。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、我々は、クレアチニン・クリアランスというのをはかって腎臓の働きの目安にしているわけですが、正常な人で100、腎機能が落ちると、それが70になり、50になり、30になり、20になり、10になる。10位になると、いわゆる尿毒症という状態に近づくわけです。それで、我々が一応の目安にしているのは、クレアチニン・クリアランスが70~80以上の値ということです。

我々が、いろいろ挙げる数字は、統計的なものです。血圧が150以下で、クレアチニン・クリアランスが80以上ある、という方の場合には、90%以上の確率で安全であろう、というふうに言えるわけですが、そのほかの時にはどうなのか、というと、その方、その方で結果が違います。

ある検査成績をお持ちの方に、あなたは必ずこうなる、ということは必ずしも言えないのが、我々のつらいところです。

この機会に、多少はずれますけれど、膠原病の病状は、SLEにかかわらず、十人十色の経過をとる、と我々は思っております。

同じ病気の患者でも、一人一人の経過は決して同じではない。

ところが、たくさんの患者さんを集めて統計をとると、SLEはこういうものである、PSSはこう、DMは、ということが、ある確率で言えるようになる。

しかしそれは、そのまま個々の患者さんのすべてに、当てはまるわけではないんですね。

例えば、SLEで腎臓がどの程度に侵されるか、を調べてみますと、蛋白が出るか出ないか、というふうなことで判断しますと、約半数。それが、腎臓のバイオプシー(生検)をやって調べてみますと、90%位の方に、異常が見つかります。

一般論として、いろいろなことが言えますけれども、個々の患者さんのことになると、なかなか、判断が難しいことが多くて、長いこと観察している受持医が、いちばん見当が付けられるだろう、とういことになるわけです。したがって、長いこと診てくれているドクターに、妊娠・出産に、どういう危険性があるのだろうか、ということ相談されて、決心されるのがよろしいかと思えます。

最後に、SLEの患者さんから生まれてくる赤ちゃんに、どんな危険性、あるいは、どんな心配があるのか、ということについてお話ししますと、無事に出産された場合には、何も問題はない。ただ、生まれたときの体重がすこし小さい、ということが、どの報告にもなされています。これは、未熟児を育てるときに言われることなんですけれども、標準体重になった日を、誕生日だと考えて育てればいい。生まれたときは小さくても、成育には何も障害はない。その点は、ご心配はいらない。

それから、治療中に服用しているお薬の影響、ということ、心配されるのももつとですが、少なくとも、ステロイドに関しては問題ない、とされています。赤ちゃんがすこし小さいのは、ステロイドのせいではないか、と言われているんですけれども、まず、ステロイドは心配ない。

免疫抑制剤が使われていることがあります

が、これも、催奇性があるという、確実な証拠はまだ無い。我々は、一応、妊娠を希望される方には、差し上げてはいないんですけれども、万が一、投与中に妊娠されることがあっても、そう、心配されないほうがよろしい。

もう一つは、人口中絶の問題です。確かに、妊娠・出産に耐えられそうもないような人の場合には、中絶することもあります。しかし、分娩と同様に中絶も、SLEを悪化させる要因の一つです。だから、なるべく妊娠中絶は、避けたほうがいい、というのが現在、膠原病診療を行っている我々の意見です。妊娠・出産は無理、と判断された方は、避妊は十分に考えてほしい。

薬よりもむしろ、我々が気をつけたいのは、レントゲン検査です。赤ちゃんが、放射線に感受性の高いときに、胸の写真を撮るということで、あるいは、胃の検査をするということで、放射線を浴びますと、赤ちゃんに良い影響は与えません。その都度なるべく、我々は伺うようにしているんですが、医師から写

真を撮ろうと言われたときには、ご自分が妊娠しているということを、はっきりおっしゃって頂きたい。

最初に、SLEの患者さんは、妊娠すると30%位に、早・流産があると申しました。いったいどういうときに、その危険性が高いかを、北里大学の柏崎先生が調べておられます。柏崎先生は、梅毒反応の偽陽性、抗SSA抗体、抗凝固因子の3つの検査所見に注目され、これらが、複合して陽性の場合、早・流産率が高い、と報告されています。

どれかが陽性だと、必ずだめだという、そういうわけでは無いのですけれども、先ほど申しましたように、統計的に調査すると、そういうことが言われていますので、妊娠を希望される場合には、今申しあげたような検査所見がどうかということを、調べていただいた方がよろしいかと思えます。

ご静聴ありがとうございました。ご参考になることがありましたら、幸せです。

(「膠原とうきょう」より転載)

会員だより

前略

会員の皆様、お元気でお過ごしでしょうか？
ゆく春の名残り惜しい今日この頃ですが、膠原病患者にとっては、5月という季節が一番快適に思えます。私も2月から約3カ月間余りの間、入院しておりまして、又、久しぶりに膠原だよりに、声をかけたくくなりました。全国には私たちと同じように、難病と闘い乍



ら、病気と上手におつきあいし乍ら毎日を、頑張っておられることを知らされまして、同病を持つ者としまして、心から、お一人お一人の気持ちが手に取るように解かります。

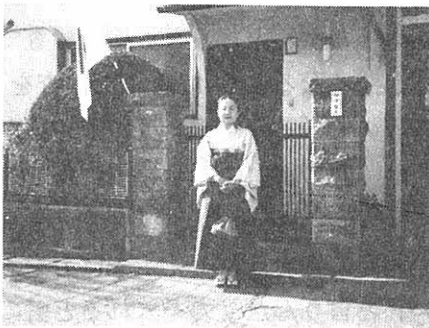
全国に各支部が出来ていて、私の住む宮崎県にも支部を是非作って、患者同志の語り合いの場として、又、難病克服の道を見出す為に、患者どうし、立ち上らなければ、いけない時期に来ていると思うのです。

宮崎県支部を開設するには、最初は大変に手惑う事ばかりだと思うのですが、まず、どのようなことから始めたらいいのでしょうか？

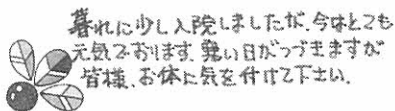
参考にしたいと思しますので、ご協力をお願いしたくてペンを取った次第です。

皆様これから梅雨に入ります。どうぞ呉々もご身体をご自愛下さいませ。

宮崎県 川元フミ子



皆様、いかがお過ですか。
先日、1月15日に無事、成人式を終えました。
いつも、私の事を心配して下さいまして本当にありがとうございます。
これからは1人の大人として頑張りますので、よろしくお願い致します。



暮れに少し入院しましたが、今はとも
元気おひます。暑い日がつづきますが
皆様、お体に気を付けて下さい。

神奈川県 伊沢真美

歳月は流れる

(私の闘病日誌から)

会員のみな様お変わりありませんか。昨年は万事に変化激しく、その対応に苦慮し、自分^{かえり}を顧みることなく、他に思いやりも出来ぬ卯年でした。

今年^{えんぎ}は縁起の良い辰(竜)年です。辰(竜)は想像上の動物ですが、中国では古来から鳳凰とともに神力靈力ある靈獸^{あが}と崇められ、日本でも広くこの伝説^{つた}が伝え祭られ「繁栄する成功する」とよい意味に使われてきました。今年はこの神力靈力にあやかり、生活の不安、心の不安から発生する犯罪^{めつ}を撲滅し、平穏な明るい社会で快適な療養生活が出来てことを望むものです。

私は昭和55年9月9日、始めて受診し、膠原病と肺腺維症の重症患者、生命の保障一週間、即時入院^{せん}と宣告され、聞いたことのない病名に妻と2人であ然としました。

私ははやる心を抑え、「先生、膠原病はどんな病気ですか」と聞きました。先生は「膠原病は全身の臓器^{ぞう}の結合組織^{おか}が侵される、未だに原因が不明の病気です」と言われた。(生命の保障が一週間、と主治医から妻に話されたのは入院した午後です)入院手続きも終り、私は車椅子にさせられ、内科病棟4階の個室に入った。ベニヤ板張の粗末な病室のベッドが私を待っていた。涙が出る。妻も泣いていた。ベッドに入った妻が、「お父さん、戦争中のハワイもミッドウェー海戦も負傷しながらも生き残ったでしょう。病気なんかには負けないでしょう。神仏^{あた}の与えた試練よ、頑張らましよう」と励ましてくれた。

私が入院した翌日から、わが家の宗派の日蓮宗(身延山久遠寺系)の東京の末寺に、妻は私の病気快復の日参を始めた。午前5時に家を出て東京上野まで行くということだ。午前11時ころには時計の針の如く「体力がないと病気に勝てませんよ」と自製の、豆乳、トマトジュース、おにぎり、酒、タバコの嫌いな甘党の私の為に、オハギ、大福餅、大学芋、クッキー、ビスケット、チョコレート、シュークリーム、大好きな果物などを持参してくれた。

妻は私の全身を白紙で拭き取りバッグに入れた。どうするのかと聞くと「病気が全快するように、お寺で祈祷して貰うのよ」と言った。私が「そんな馬鹿な…。医学の発達した今の世にあって、仏に手を合わせて病気がなおるなら、医者も薬もいらないよ。それに坊さんも病気になれば医者の世話になるでしょう」と言うと妻は、にこにこ笑うだけでした。

いよいよ全身の病理検査が始まった。中でも私が精神的に大きなショックを受けたのは、放射線の検査で、係員に「なぜ私は放射線による検査が必要なのか理由を知りたい」「ガン患者なのか…」と頑強につめよりました。係員が「放射線表示はしてありますが患者の皆さんが受けるX線撮影ですから大丈夫ですよ」「ガンではありません」と言われた。白衣に着替え、30枚以上の全身撮影が終わった。看護婦に車椅子を押され病室に帰ると妻が食事を用意して待っていた。「看護婦さん大人の赤ちゃんでお世話になります」と頭を40度位に曲げて礼を言っていた。ソファに腰を却した。病棟の看護婦が「お食事ですよ」とアルミ製の渾のある膳に3個のアルミ製食器をのせて入って来た。「どうもすみません」妻が受取

ると「病院食以外に余り食べないようにね」と言った。窓辺の置時計は我れ聞せずと、針は午後5時20分を指していた。私は窓越しに暮れゆく9月の秋空を見ていた。

今日は午前9時から筋肉の検査、激痛に耐えての検査で疲れた。午後2時からの肺活量の検査に続いてX線撮影、今夜も一人激痛と闘うか。

神仏の試練になんか負けるものか、と自分に言い聞かせていた。卓上の好物に手が出ない。妻がポットから、私が握力がなく持てない指の為に、指を2、3本通して飲むように準備してくれた大型コーヒーカップにお茶を入れてくれた。両手でカップを持ち一口飲んだ「おいしいね」と言った。妻が「お父さん、裏の飲み方ね、両手で飲む型は」と言った。

卓上の大福餅に手を出したが取ることを自分で拒んだ…。ほしくない…疲れた…と思った。私の顔色を見た妻が「食べなくちゃ一病気に勝てませんよ」と言った。「今日の検査はつらかったよ」と言う。「検査検査でかえって体が悪くなるようね、どんな検査をしたの」と言うので「そうだね。兎に角つらかったのは、硝子製の密室に入り筋肉に長さ20センチ位の極細の金針を刺し、扉の外から係員が……はい両足に力を入れて…足先に力を入れて下さい」と言うんだ「力を入れると針の刺してある大腿部の足の筋肉が痛いんだ」話している途中涙が出た。「お父さん病気になって涙もろくなったね」とハンカチで涙を拭き取ってくれた。「麻酔もしないでやるのね、痛いわよ」と言った。

妻に支えられベッドに入った。全身に激痛が走って来た。涙をこらえ手を握ってがまんした。他人にわからない痛みである。

「お父さん、6時10分だから帰りますよ。何かあったらこのブザーを押さない」と言って病室を出て行った。

私は瘦細^{やせほそ}った自分の筋肉、爪揚子^{つまようし}も掴めな^{つか}い手指を見て、どうしてこのような病気にかからねば…。軍人、公務員、国の為^のに働らいて…。私は神仏^のを呪い泣きました。菌検査^の為^のの左足大腿部^の筋肉^の切り取り^の切開手術も終わった。

いよいよ主治医の話されたステロイドが飲める、一刻一秒も早く激痛から解放されたい。看護学校の生徒が実習^の為^のに私の看護についた。午前9時30分から午後4時までである。

妻の用意した食物は夕食以降消灯の間、看護婦の目の届かない時間帯に食べることにした。

投薬を受けたが痛みは消えない。痛みを忘れようと、雑誌、テレビに神経を集中するが、かえって空腹感が増大^いした。幾ら食べても空腹なのである。看護婦にも食物が発覚したが、「病気が欲しが^いるのね」と黙認してくれた。

だが病院食が少なくなった。理由を聞くと、他言しないことを条件に、病院食以外に多く食べるので、主治医が500カロリー以下にしたことがわかった。看護婦が患者の行動を記録して主治医が報告を聞いた結果でしょう。

私が主治医の言葉、看護婦の一挙手一投足を観ていると同様、看護婦も患者を観察しているのです。主治医や看護婦と口論^{しか}し、叱られたり、泣いたり笑ったりして不良患者の私と仲良くなつた。

自分の体が、自分で思うようにならないので、妻に無理難題をいう。妻は病人で心が荒んでいるとして相手にしない。

薬を飲み始めて3日が過ぎた。妻が日参し

始めて13日、入院して14日になった。痛み^に耐え私は眠りに入っていた……。その眠りの中で……。戦友が飛行服姿で海面に漂^たよい…助けてくれ…と叫ぶ。主治医、看護婦と雑談している…その時「お父さん。お父さん」と呼ぶ声に目覚めた。「何だ、いやな夢だ…」と上半身を起していた。全身の痛みで、歩行も寝起きにも苦しんだ私が上半身を起していた。不思議だ。両足を床におろして立上った。痛みがない、歩いて見た、歩けた。私は「歩けた。歩けた」と大声を出し病室の中を歩き廻り、ベッドに伏して泣いた。当直看護婦が「佐藤さんどうしたの、ねどうしたの…」と背に手を当てていた。

私は、ようやく泣き声で、「歩けたんです。痛みも消えたんです」と子供のように一気に話した。「歩けた……本当…歩けたの…良かった…」看護婦が祝福してくれた。「先生びっくりするわ…」「寒いからベッドに入りなさい。風邪引くといけないから」と言って出て行った。

私は妻に知らせようと、無造作に小引出しから拾円硬貨を数個握って廊下に出た。病室から50歩位の、4階ロビーの赤電話に向っていた。途中まで行くと、足許を懐中電灯で照らした主任看護婦が立ち塞がっていた。

「どうしたの、こんな時間に風邪を引くと大変よ。病室にお帰りなさい」と言われた。

私は「急用を思い出し家に電話します。すぐ帰ります」と答えると主任が「静かに話さない」と言って歩き出した。受話器をあげ、拾円硬貨数個を入れ、ダイヤルを廻した。軽快な呼出音が妻を起している。30秒ほどで「はいはい、佐藤でございます」妻の声だ「僕一僕一」と言うと「お父さん、お父さん……」。

こんな時間にどうしたの、何かあったの…ね…
…どうかしたの…お父さん…」と呼んで来た。涙が出て私の口から次の言葉が出ない。数秒して、ようやく「歩けた…歩け…たよ…痛みも……消えた…」と泣声で話した。「本当…本当なのお父さん…歩けたの…」妻も涙声に変わっていた。言葉が出ない。「お父さん今朝早く寺に行き、いつもの時間に参りますね。お父さん聞こえるの…」と言った。電話が切れた。私は病室に帰りベッドに入る。涙が急にあふれた。入院以来15日の朝だ。深い眠りに入っていた。

その日の午前11時ころ、裏門から入って来る妻の姿に窓を開け手を振った。妻も大きく手を振っていた。9月の秋空は紺碧に晴れて淡い太陽の光が、病室の中に射し込んでいた。

病室に入った妻は、床に立っている私の胸に顔をうずめ泣いた。私も泣いた。この涙は夫婦だけ知る清らかで信頼出来る快喜の涙でした。

看護婦長、主任看護婦、当直主任が祝福してくれた。主治医も「不思議だね。僕も4、5日の服薬で、歩行出来、痛みも取れるとは信じられない」と祝福してくれた。

私は痛みからの解放に初めて、私の治療に関係した人達を信頼する心になっていた。その中でも特に、入院の翌日から、寒冷風雨に耐え仏前に日参して快復を祈願し、食物を作り運んでくれた妻が、私を死の淵から蘇生させてくれたと手を合わせ、男泣きしました。

仏教は、仏とは宇宙の慈悲だと教えてますが、私が仏と呼べるのは、妻であり、医師です。

私は16歳から、海軍に籍を置き、各地戦場を駆け巡り昭和20年12月東北の寒村に帰郷し

ました。昭和21年4月、公務員試験に合格し、あれから32年余、公務員生活し、53年55歳で定年退職しました。退職後は書道、尺八(三曲)整体術の何れかで送ろうとしました。

昭和54年6月、毎日書道展入選を機に、7月から池袋、吉祥寺の2ヶ所に書道教室を開設しておりましたが、10月17日、吉祥寺の教室からの帰途台風接近で電車が不通になり、吉祥寺駅に約5時間電車開通を待機中、左右膝関節に痛みを感じました。しかしこの膝関節の痛みは約10日間の軽症でしたが、この時から私の体内に病魔が宿していたのか、昭和55年8月下旬に、約40度近い高熱と全身関節に激痛を感じ解熱剤や自己療法で治療しましたが、極度の衰弱に、自宅治療に限界を感じ受診し入院したのです。入院して4ヶ月後、改めて病名が、多発性筋炎強皮症皮膚筋炎、全身関節リウマチ炎、及び肺線維症と診断されたのです。

私は、神仏の試練とは言え、余りにも悲愴な運命のいたずらに泣きました。現在、ステロと仲良くしております。2ヶ月に1度の採血検査は良好です。今年1月末の診察時に「先生、私は、あと何年生きられますか…」と聞きました。先生が「死ぬまで生きましょうよ。7年も生きられたのだからね。死んでる体だったよ。奥さんがよく知ってるはずですよ」と言われました。私は「そうですね。死ぬまで生きましょう」と2人で大笑いしました。

私は膠原病患者として、上手に生きるも、下手に生きるも、療養者それぞれの心構え一つだと考えました。ことわざに「泣いて暮すも50年」とありますが、難病と同居する吾が身なれば、笑って送ろうと考え、まだ生きられたことと生きている事を率直に喜こべる心

境になるよう心掛けています。

7年前私は多くの人達の善意で死の淵から奇跡的に、この世に生きられ、精神的、肉体的に貴重な体験をしました。私達療養者は、それぞれ違った環境にあって生活し、療養生活を送っています。しかし療養の心境は同一だと思えます。今年は想像上の辰(竜)年ではあるが、この縁起の良い辰(竜)年にあやかり、夢と希望を以って頑張ろうではありませんか。

私が入院して14日(15日朝)全身から激痛が消え、歩行出来るようになった15日の日誌に「夢は心を窓にした魂の映像である。真に

信頼出来る妻よ、多くの善意の人よ有難う」

また56年2月23日の退院前日の日誌「6ヶ月近く駄々っ子、不良患者の私に尽してくれた主治医や看護婦さん有難う。涙を拭き取り便秘に苦しむ私の下腹部を長時間のの字にさすってくれた婦長さん有難う」と記載してあります。

友の会の皆様、春から夏にかけての花咲く草木も自然に順応しています。つくしんぼうも背高ノッポになりました。

自然に逆らわず、素直な心で、日日是好日、大安吉日として療養に頑張らしましょう。会員皆様のご健康をお祈りします。

神奈川県 佐藤 栄

掲 示 板

◎岡山県支部が誕生します。

事務局

六 野 恵 子

◎鹿児島県支部は今迄鹿児島県難病連会長の上野氏が支部長代行をして下さって居りましたが、今年度から清藤美恵子さんが支部長になりました。

清 藤 美 恵 子

◎全国難病団体連絡協議会の会長佐藤さんが辞任され、新しく、ベーチエット病友の会会長の岩下氏が全難連会長となりました。新事務局の住所は次の処です。



手をつなごう福祉の輪
6月26日
会場
鴨池公民館
市営フルラウラ
AM10:00から
第1回難病者会費及フェスティバル
難病患者に
愛の手を!!
池上洋通
月形昭弘
*オークション
*パズル
*バンド・マジック
*模範店
*その他
入場料
500円

連絡先・鹿児島県支部

事務局だより

- さわやかな季節になりましたが、皆様にはお元気でお過ごしでしょうか。もうじき全国総会でお目にかかれますので体調を整えてお出かけ下さいね。今度の会場は東京タワーの前です。ちょっと登って東京を眺めて見てはいかがですか。
- 医療相談用紙を入れました。質問は要領よく簡単にお書きになって本部事務局まで、お早めにお送りください。
- 今回振替用紙を全員に挿入しましたので(支部で集めている所以外) 63年度分、会費又は賛助会費にお使い下さい。裏面の送金明細に該当するものに○印を付けて下さい。振替用紙の振込票は領収書となりますので大切に保存して下さい(本部からは現金以外は領収書を別にお送り致しません)生活保護の方は免除です。又事情のおありの方はご遠慮なくお申し出下さい。本年度会費をすでに納入済みの方には申訳有りませんが手数上全員に入れますのでお許し下さい。
普通会費 1年間 3,600円
賛助会費 1口 1,000円 何口でも
- 投稿者のご住所のお問い合わせは本部事務局にお願いします。

編集後記

- 今号は総会に関する事を中心といたしました。
- 初めての真夏の総会となります。
- 会場は東京タワーのまん前です。考えてみると探し歩いたのは寒い2月でしたネ。編集に手間どり、お届けが遅くなりましたので、ハラハラしています。地方の方、キップの予約を急いで下さい!!
- 当日会場には冷房が入ります。はおる物を忘れずに御準備ください。
- お目にかかれます日を楽しみにしております。
- 「ドクターコーナー」は先生方の投稿・寄稿によるものです。地方におられます先生方のご協力をお願いします。
- みなさんの「体験」やご意見ご感想をお寄せ下さい。
- お寄せ頂きました原稿は編集の都合上一部割愛する場合がございますので、あらかじめご了承下さいますようお願い致します。

編集委員 森田 かよ子
寺山 ゑみ
河村 真澄
八宗岡 峰起子
中村 静子
松本 貞子